

その配慮、大丈夫ですか？ ～性の多様性の観点から考える

日本のLGBT層の割合は約9%あり、そのうち約65%がカミングアウトをしていないため、医療の現場では本人照合はじめ多くの場面で配慮が必要な状況があります。多様な性に関する基礎知識や正しい情報を得ていただくことを目的として、教職員がLGBTへの理解を深めるためにSD研修会を開催します。講師は、2017年より医学科「医療プロフェッショナルリズム」において『ダイバーシティに対応できる医療』を講義してくださっている名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科医師、NPO法人TTSファミリー理事長・代表の松尾かずな先生です。医療人として重要な知識を得る貴重な機会となりますので、皆様奮ってご参加ください。



講師

松尾かずな先生

名古屋大学医学部附属病院
泌尿器科

1998年「自分らしさを求めて、自分らしく生きたい」をキャッチフレーズに、性同一性障害をはじめとした心の性と身体（戸籍）の性のギャップに悩む当事者が、「普通の生活ができるための環境作りを目指し」て特定非営利活動法人TTSファミリーを設立。一人ひとりに合った医療面でのアドバイス、心と身体両面のサポートを行うとともに、ご家族など当事者の身近にいらっしゃる方、その他医療・教育関係者などに正しい情報と知識を得て頂く講座を実施。その他、行政・教育機関等での講演等も多数。

2024年

5月17日(金)17:30-19:00

会場：教育研究棟 3F・大教室
(自主自学館)

▼Zoomウェビナーにて同時配信
ご登録の上、ご参加ください。



ウェビナーID: 916 8959 5276
ウェビナーパスコード：835957

※当日・直前のご登録も可能

※後日、一部編集したものをオンデマンド配信予定

対象：本学教職員・学生

お問合せ：ダイバーシティ推進センター
(内線) 4401
(Mail) dpc@tokyo-med.ac.jp